

学習指導案

大阪府立〇〇高等学校
教諭 〇〇 〇〇

- 1 日時 平成 26 年 11 月 21 日 (金) 6 限
- 2 対象 第 1 学年 8 組 36 名 (男子 17 名、女子 19 名)
- 3 学級観 「略」
- 4 教材 教科書『Power On Communication English I』(東京書籍) Communication Activity2
- 5 単元の目標
 - ア グループワークにおいて、聞き取れない箇所や未知の語句があっても推測するなどして、聞き続けることができる。
 - イ 日本文化「箸」についてのスピーチを聞き、内容を理解することができる。
 - ウ これまでに学習した、「読むこと」の言語活動に用いられている語句や文構造、文法事項などを活用することができる。
 - エ Lesson5 *Kawaii* and Japanese Pop Culture, Lesson7 *Furoshiki*-The magic Cloth から日本の文化について学び、Lesson8 The Emerald Isle からアイルランドと日本の違いについて学んだ内容や表現を用いて、日本文化を紹介するオリジナルスピーチを行うことができる。
- 6 指導の計画 (全 7 回)
 - 第 1 時 スピーチの導入
ルーブリックの提示、個人の目標とクラス目標の決定、内容検討
 - 第 2 時 スピーチ作成
ワークシート表現活動
 - 第 3 時 スピーチ練習①
ペアにて練習
 - 第 4 時 スピーチ練習②
グループにて練習
 - 第 5 時 スピーチ練習③
グループにて練習 リハーサル
 - 第 6 時 スピーチ①
グループにて練習、発表
 - 第 7 時 スピーチ②
グループにて練習、発表 〈本時〉

7 単元の評価規準

①コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	②外国語表現の能力	③外国語理解の能力	④言語や文化について の知識・理解
<p><聞くこと> 聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして、聞き続けることができる。</p> <p><話すこと> ペアワークやグループワークに積極的に参加し、自分の言葉で表現しようとしている。</p>	<p><話す・書くこと> 聞いたり、読んだことに基づき、日本文化について考え、自分が興味のある日本文化について調べ、スピーチを行うことができる。</p>	<p><聞く・読むこと> クラスメイトのスピーチを読み、聞き、内容を理解することができる。</p>	<p><読むこと> これまでの言語活動に用いられている語句や文構造、文法事項などについての知識を身に付けることができる。</p>

8 観点別評価方法

それぞれの評価規準ごとに、「十分満足できる」状況（A）、「おおむね満足できる」状況（B）、「努力を要する」状況（C）のいずれの状況にあるのかを判断する。

①「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」

評価規準	<p>ペアワークやグループワークにおいて、聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして、聞き続けることができる。</p>
評価方法	<p>活動を観察することによって、積極的にコミュニケーションを図ろうとしているかを判断する。また、ワークシートや評価シートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアワークやグループワークの際に教室内を巡回し、言語活動に取り組んでいるかどうかを確認する。 ・ワークシートを提出させ、その記入内容を確認する。 <p>「十分満足できる」状況（A） これまでに学習した内容を使おうと努力しながら積極的に活動に取り組んでいるとともに、ペアワークやグループワーク等において、互いに協力しながら言語活動に取り組む姿勢が顕著に見られ、ワークシートへの記入状況からも、言語活動への積極的な態度をみとることができる場合を「A」とする。</p> <p>「おおむね満足できる」状況（B） 学習した内容を使おうとしながら活動に取り組んでいる様子が見られ、ワークシートへも必要な内容が記入されている場合を「B」とする。</p>

②「外国語表現の能力」

評価規準	これまでに学んだことから日本文化について考え、自分が興味をもつ日本文化を紹介するオリジナルスピーチを行うことができる。
評価方法	<p>活動を観察し、グループワークでの発表において、相手に理解できる英語を使って伝えることができるかどうかを判断する。また、ワークシートや評価シートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークシートを提出させ、その記入内容から、書くことへの取り組み具合を確認する。 グループワークでの発表における表現の様子を評価する。 <p>「十分満足できる」状況 (A) 発表原稿や発表において、文法・語法等の誤りはあるが、自分の伝えたいことについて、おおよその内容を伝えることができている場合を「A」とする。</p> <p>「おおむね満足できる」状況 (B) 発表原稿や発表において、文法・語法等の誤りはあるが、自分の伝えたいことについて、おおよその内容を伝える努力ができている場合を「B」とする。</p>

③「外国語理解の能力」

評価規準	クラスメイトのスピーチを聞き、内容を理解することができる。
評価方法	<p>活動を観察することと、評価シートにおいて、理解の能力を判断する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 評価シートを提出させ、その記入内容から、内容理解の度合いを確認する。 <p>「十分満足できる」状況 (A) 評価シートの記入から、クラスメイトのスピーチを聞き、十分に内容を理解できている場合を「A」とする。</p> <p>「おおむね満足できる」状況 (B) 評価シートの記入から、クラスメイトのスピーチを聞き、おおむね内容を理解できている場合を「B」とする。</p>

④「言語や文化についての知識・理解」

評価規準	これまでに学んだ表現を身に付けている。
評価方法	<p>ワークシートにおいて、語彙や分詞の用法についての知識が身に付いているかを判断する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Lesson5, Lesson7, Lesson8 の表現について確認テストを行い、理解度を確認する。 ・ ワークシートを提出させ、その記入内容から、文法項目についての理解度を確認する。 <p>「十分満足できる」状況 (A)</p> <p>確認テストにおいて高い得点を取るような知識・理解の定着が見られ、ワークシートの記入状況から文法事項についても正しい理解と活用ができている場合を「A」とする。</p> <p>「おおむね満足できる」状況 (B)</p> <p>確認テストにおいておおむね知識・理解が定着していると判断でき、ワークシートの記入状況から文法事項について正しい理解ができている場合を「B」とする。</p>

9 本時の目標と観点別評価基準

- ア 日本文化について考え、英語で発表する。
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度、外国語表現の能力)
- イ 多くの友人の英語スピーチを聞いて内容の概要を把握し、相互理解を深める。
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度、外国語理解の能力、言語や文化についての知識・理解)
- ウ 生徒同士でスピーチを相互評価し、的確な助言や励ましを与え合う。
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

10 本時の展開

時間	生徒の学習活動	教師の活動及び指導上の留意事項	評価
導入 10分	前時の発表者へのコメントを確認	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の発表者のスピーチを評価する。 ・本時の発表に向け、関心・意欲を高める。 	①関・意・態
展開 35分	<p>(1)【グループ内練習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5～6人のグループに分かれ、そのグループの中で、本時最初に発表する生徒がスピーチの練習をする。 <p>(2)【グループ内評価、助言、改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループの中で練習した生徒のスピーチを聞いて助言を与え合い、クラス発表に向けての改善を図る。 <p>(3)【クラス発表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ内で練習を終えた生徒が一人ずつクラス全体に向けてスピーチを行う。 ・他の生徒は発表者のスピーチを聞きながら内容を理解し、発音・話しぶり・暗記の程度・内容について、それぞれ評価し、コメントを書く。 <p>以降の発表者についても同様に、上の(1)～(3)を繰り返す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各グループを巡回しながら、発表練習ができているかを確認し、発音等のつまずきがあれば指導する。 ・生徒同士がお互いを評価し、助言を与え合っているか確認し、消極的なグループがあれば適切に支援する。 ・発表生徒のスピーチを個別に評価する。 ・他の生徒は発表者のスピーチを聞くことに集中するよう指導する。 ・各スピーチ終了時に全体に向けてコメントし、生徒の内容理解を支援する。 ・生徒がそれぞれのスピーチを評価できているかを確認し、適切なタイミングで次の発表者を紹介する。 	<p>①関・意・態 ②表現の能力 ③理解の能力</p> <p>①関・意・態 ③理解の能力</p> <p>①関・意・態 ②表現の能力 ③理解の能力</p>
まとめ 5分	本時のまとめ		